

南葛飾高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（現代高等保健体育 保体701 大修館書店）

教科・科目の目標

【知識及び技能】生涯を通じる健康分野や環境問題に積極的に取り組み、社会の中で自分自身の役割を発見する。

【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとすることができる。

科目 0 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション 3単元 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。 ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。	(知) ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。	○	○	○	4
	3 性意識と性行動の選択	・性意識の男女差について例をあげて説明できる。		○	○	○	3
	定期考査	なし					
	4 妊娠・出産と健康	・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解できる。	・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	3
	5 避妊法と人工妊娠中絶	・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。	・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
定期考査				○	○		1
2 学 期	6 結婚生活と健康	・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。	・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。(思) ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道をたてる。	○	○	○	4
	7 中高年と健康	・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。	・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。	○	○	○	3

2 学 期	8 働くことと健康	<ul style="list-style-type: none"> 働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。 	生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	○	○	○	3
	9 労働災害と健康	<ul style="list-style-type: none"> 労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。 余暇を積極的にとることの意義について説明できる。 	・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。	○	○	○	3
定期考査及び研究発表				○	○		1
3 学 期	4 単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、登城汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 	(知) 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	3
	3 環境と健康にかかわる対策	<ul style="list-style-type: none"> 環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 	(思) 環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。				
	4 ごみの処理と上下水道	<ul style="list-style-type: none"> ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 	・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 (主) 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査及び研究発表				○	○	
合計							35